

都電荒川線沿線と日暮里・舎人ライナー沿線(尾久・日暮里)観光スポット

①都電荒川線荒川車庫

三ノ橋橋～早稲田間を
運行する「都電荒川線」
は、8900形の新型車両
をはじめ5種類が運行し、
都電おもいで広場には、
旧型車両2両が展示され
ています。また、6月10日
の「路面電車の日」や10
月1日の「荒川線の日」を
記念したイベントが開催
されます。



② 荒川遊園煉瓦塀

明治初期、この地域では煉瓦に適した土が取れ、船運等交通の便がよいことから、煉瓦工場が建ち並びました。その後、大正11年(1922)、跡地に荒川遊園を開園し、煉瓦工場にあった煉瓦を使い、遊園を囲む塀を作ったとされています。



③ あらかわ遊園

2022年にリニューアルオープンした都内唯一の区立遊園地です。高さ40mの観覧車のある「のりもの広場」や動物とふれあえる「どうぶつ広場」など幅広い世代で楽しめます。入園料:大人800円・小学生200円など、開園時間:9~17時(夜間開園日は20時)、休園日:火曜日、その他※詳しくは公式HPでご確認ください。【問合せ:03-3893-6003】



④ 水上バス発着場とグロッケン(鉄

隅田川のほとり、「東京水辺ライン」の発着場「荒川遊園」(土・日祝日の特定日運行)の近くの欄干には、グロッケン(鉄琴)が設置されています。左から鍵盤を叩いていくと、「春のうららの隅田川～」の歌詞で有名な滝廉太郎作曲の「花」を奏することができます。



⑤延命子育地藏尊

寛文9年(1669)・宝永
年(1705)銘の日待供養
2基を始め、寛永20
(1643)銘の地藏菩薩や
申塔など、江戸時代に建
られた石造物があります
延命・子育てにご利益が
り、毎月2日・12日・22日
「2の日」には縁日があり
毎年7月12日には僧侶に
るお盆供養が行われます

